

家畜衛生情報

宮城県で豚熱（CSF）が発生しました

12月13日、宮城県の養豚農場において、豚熱の患畜が確認されました。

長野県では、適切なワクチン接種に努めておりますが、各養豚農場においては引き続き豚熱の侵入を防止するとともにアフリカ豚熱に対する防疫を強化するため、農場へ出入りする車両や人等の消毒体制を再確認するなど、飼養衛生管理基準遵守の徹底と異常豚の早期発見・通報をお願いします。

発生概況	発生農場：宮城県大河原町の養豚農場 約 9,700 頭飼養 疫学関連農場：宮城県白石市 〃 約 2,200 頭飼養
経緯	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県は、12月11日（土）、同県大河原町の農場から、異状（複数頭でチアノーゼ）が見られるとの通報を受け、当該農場に立ち入り、病性鑑定を実施。 宮城県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門で精密検査を実施したところ、12月12日（日）、豚熱の患畜であることが判明。

群馬県前橋市・桐生市の豚熱発生事例に係る疫学調査結果

国において、「豚熱64、71、73、74例目疫学調査結果」及び「群馬県前橋市・桐生市での豚熱発生状況を踏まえた提言」がまとめられました。感染いのししのウイルスが農場に侵入し、飼養豚への感染が起こりやすいことを再認識の上、特に、以下の点にご注意願います。

1 農場周囲の消毒等

- ☑ 農場周囲にいのししの隠れる場所等の伐採・整理整頓
- ☑ 柵外側の定期的な消毒等
- ☑ 衛生管理区域内の定期的な消毒の徹底

2 主な発生場所である離乳舎における衛生管理の徹底

- ☑ 各畜舎専用衣服・長靴への更衣及び履き替え
- ☑ 畜舎立入り時の手指消毒
- ☑ 畜舎に持ち込む資材の消毒

3 適切な濃度の消毒薬の使用・適切な頻度の交換の実施



冬季に逆性石けんを使用する際の方法（逆性石けんは低温で消毒効果が減弱します）

- ① 微温湯で希釈し、できる限り交換の頻度を高める。
- ② もしくは飽和石灰水（石灰が溶けきれず残っている状態の上澄み液）で希釈する

松本家畜保健衛生所 > 情報提供 のページ内

「家畜衛生対策に係る技術資料」、「鶏研修会」のうち「バイオセキュリティ向上に向けた消毒方法

検索

家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	飯田	0265-53-0439	長野	026-226-0923
伊那	0265-72-2782	松本	0263-47-3223	県庁家畜防疫対策室	026-235-7232